

真和館の施設運営に関する基本的な考え方と行動規範

《真和館の願い》

救護施設真和館はさまざまな理由で他の制度や他の施設で対応できない方が、安心して暮らせる施設であり、また、人生行路につまづいたり、挫折した人にとっては、旅人が砂漠のオアシスで疲れを癒し、新たな旅に出発するように、人生に再チャレンジするための支援ができる施設でありたいと願っています。

《基本方針》

- 1 入所者に安心した生活をしていただくため、真心と和の精神で質の高いサービスを提供し続けます。そのために、職員の人間性の向上や能力開発に取り組むと共に、時代の要請に応じた事業を展開して行きます。
- 2 入所者の人権を尊重し、入所者や社会から信頼される公明で公正な開かれた施設をめざします。
- 3 働く職員にとって働きやすい、夢のある職場づくりをめざします。

《運営方針》

(施設管理)

- 1 掃除が行き届いた、臭いのしない清潔な施設をめざします。
- 2 建物・設備等の保全、整備に気を配り、故障やトラブルが無いよう努めます。
- 3 防災に気を配り、災害を発生させないよう努めます。

(入所者処遇)

- 1 入所者に安心した生活を送っていただくため、入所者に寄り添いながら、必要な時には向き合った処遇を実践します。
寄り添った処遇・・・受容と共感と思いやり 向き合った処遇・・・切り込みと引き締めと真因の発見
- 2 入所者の持てる能力に応じた自立をめざすと共に、地域生活に戻れる取り組みをします。
- 3 リスク管理を徹底し、事故の無い施設をめざします。

《経営方針》

- 1 シンプルな装備と徹底した節約で、低コスト経営をめざします。
- 2 常に現場に立脚した作業マニュアルであり、システムであり、ソフトであるよう検討を続けて行きます。
- 3 5S運動やQC活動等を通して、ムリ・ムダ・ムラのない効率的な経営をめざします。

《職員の姿勢》

- 1 今、この時、この場に全力投球できる、当事者意識(意志)を持った職員をめざします。
- 2 決められたことを真摯にやり遂げ、正しく継続できる職員をめざします。
- 3 報・連・相(復唱・復命)を確実に言い、常に、進化・成長する職員をめざします。
〔報告〕現状認識 〔連絡〕課題の認識 〔相談〕改善点の認識

《行動基準》

- 1 入所者の立場に立った行動なのか。
- 2 費用と効果のバランスが取れた行動なのか。
- 3 法令遵守ができた行動なのか。
- 4 社会性・倫理性にかなった行動なのか。
- 5 創意と工夫ができた行動なのか。

《くらしの目標》

- 1 施設の目標 ……時間がゆっくり流れる空間づくり
- 2 職員の目標 ……入所者の思いを大切にしたい
- 3 入所者の目標 ……一日一日を大切にしたい、けじめのある生活

社会福祉法人致知会基本理念

致知会は社会福祉法人である。
社会福祉法人であるからには、

- 1 社会福祉事業の主たる担い手として、世のため人のためになる事業(社会貢献)をしなければならない。
- 2 提供するサービスは、創意と工夫を凝らした質の高いもので、利用(入所)希望者や関係者から選ばれるものでなければならない。
- 3 経営は、透明性が高く、利用者(入所者)・職員・利害関係者から信頼されるものでなければならない。

以上のつとめを果たすことにより、
社会福祉法人致知会と職員は、永遠に繁栄する。